

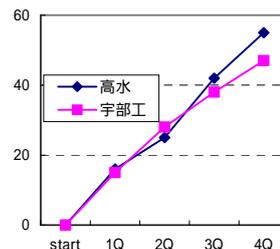
平成20年度 第52回中国高等学校バスケットボール選手権大会山口県予選会
H20年(2008年)4月26日(土)・27日(日) 西京高校

男子決勝リーグ 4月26日 9:30

高水 vs 宇部工 16 - 15 9 - 13 17 - 10 13 - 9 55 - 47

Starters
高水 #4 横田 #5 白井 #7 中里 #9 宮儀 #18 長岡 主審 渡辺 博史
宇部工 #4 辰本 #6 今塩屋 #7 村田 #8 竹本 #9 藤田 副審 枝折 健吾

1Q両者マンツーマンでスタート。初戦ということもあり立ち上がり両者ともシュートが入らない。高水はインサイドにボールを集め、一方宇部工はバス回しから外郭のシュートで応戦する。16 - 15で終了。2Q高水は得意の速い展開にもっていきたいがターンオーバーが続き流れに乗り切れない。宇部工は#7の外角からのシュートが連続で決まり25 - 28の宇部工3点リードで前半を折り返す。3Q高水は#9のドライブ、ルーズボールからの速攻などで一気に流れを引き寄せる。宇部工は得点源の#7がファール3つ目となりベンチに下がり、3Q開始6分間ノーゴール。宇部工は外郭で何とか喰らい付き高水が42 - 38とリードして4Qへ。高水は確実にシュートで終わり、リズムが崩れない。宇部工は#4#7が得点を決め5点差に迫り勢いに乗るかと思われたが、残り2分痛恨のパスミスで7点差。T.Oをとり指示を出したが、高水が冷静にゲームを選び55 - 47で高水が初戦をものにした。宇部工は次の試合に気持ちを切り替えて望みたい。(西村悠)

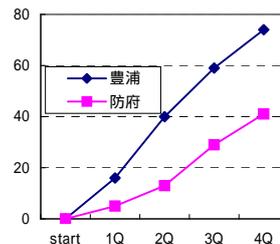


男子決勝リーグ 4月26日 11:00

豊浦 vs 防府 16 - 5 24 - 8 19 - 16 15 - 12 74 - 41

Starters
豊浦 #4 原 #8 大下 #9 白川 #12 三戸 #14 清水 主審 高部 貴透
防府 #4 河村 #5 吉田 #7 柳 #8 平屋 #13 大谷 副審 枝折 康孝

1Q豊浦はオールコート、防府はハーフコートのマンツーマンでスタート。序盤両チームともにミスが多く、なかなか得点にならない。防府は動きの中からアウトサイドのシュートを狙うが入らない。一方豊浦は動きの中からインサイドにバスをつなぎ徐々に得点する。また、豊浦はDEFでプレッシャーをかけ、速攻で得点し、自分たちのゲーム展開に持ち込み、16 - 5で終了。2Qに入り防府はDEFから立て直しを図るが、豊浦#10の3P、1on1からのジャンプシュートで突き放す。また、豊浦の激しいDEFに防府は対応できず、ミスを連発し豊浦の速攻につながる場面が多く見られた。豊浦ペースで進み、前半40 - 13の豊浦リードで終了。3Qに入り防府もかたさが取れ、#5の3P、1on1や#14のシュートが入り、両者対等のゲーム展開となる。そして59 - 29豊浦リードで終了。4Qもお互いのペースでゲームは進み、一進一退のゲーム展開となる。結局早く自分たちのペースを掴んだ豊浦が終始一貫リードを保ち74 - 41で勝利した。(葉山雅基)

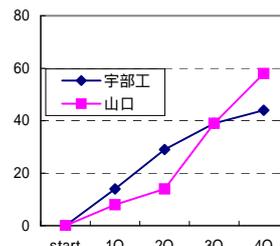


男子決勝リーグ 4月26日 12:30

宇部工 vs 山口 14 - 8 15 - 6 10 - 25 5 - 19 44 - 58

Starters
宇部工 #4 辰本 #6 今塩屋 #7 村田 #8 竹本 #9 藤田 主審 松本 理
山口 #4 大田 #5 上田 #7 友森 #8 小沢 #10 木原 副審 浅利 祐輝

1Q両チームマンツーマンでスタート。山口#7がパスカットからレイアップで先制する。宇部工は堅さから5分間得点を決めることができない。しかし、#8の2連続3Pが決まると宇部工怒濤の攻撃。14 - 8で宇部工リードで終了。2Qに入り宇部工の勢いは止まらず、#8の3Pや#7のドライブで着実に得点を重ねていく。山口はスクリーンを絡めてノーマークをつくるがシュートが入らない。たまたま、山口タイムアウトを取るがその後もミスの連続。15点差で宇部工リードで折り返す。3Q、山口#4がリバウンドやジャンプシュートで大活躍し、4連続得点。前半とは違って変わって山口が流れを掴む。さらに山口#10が3Pが4連続で決め、一気に追いつき4Qへ。山口・宇部工ともにDEFをがんばり、なかなか得点を決めることができない。しかし残り7分をきったところから山口のシュートが入り始める。対する宇部工は山口の激しいDEFの前に攻め手をかき、得点できない。最後、宇部工はオールコートでボールをとりに行くが、山口は確実にボールを運び44 - 58で逃げ切った。(枝折健吾)

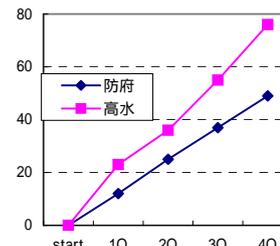


男子決勝リーグ 4月26日 14:00

防府 vs 高水 12 - 23 13 - 13 12 - 19 12 - 21 49 - 76

Starters
防府 #4 河村 #5 吉田 #7 柳 #8 平屋 #13 大谷 主審 多賀谷 豊
高水 #4 横田 #5 白井 #7 中里 #9 宮儀 #18 長岡 副審 山村 征大

両チームマンツーマンでスタート。高水#5のドライブで先制。高水は外中と効果的に攻め、加点していく。対して防府はノーマークまで作り出す、最後のフィニッシュがゴールに嫌われ、得点できない。13 - 0と高水が先行した所で防府がタイムアウト。その後、防府もいつものリズムを取り戻したが、高水が11点リードし、2Qへ。防府は#7の連続3Pで5点差まで詰め寄るが、高水は慌てることなく、11点リードを保ったまま後半へ。高水#18の安定したインサイドプレーでじわりじわり引き離していく。防府はここ一本のシュートが入らず、苦しい展開。その中で防府#4が踏ん張り、立て続けにシュートを決める場面も作るが、高水の攻撃力の前に一歩及ばず。高水は初日2勝目をあげた。(高部貴透)

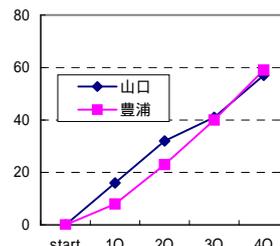


男子決勝リーグ 4月26日 15:30

山口 vs 豊浦 16 - 8 16 - 15 9 - 17 16 - 19 57 - 59

Starters
山口 #4 大田 #5 上田 #7 友森 #8 小沢 #10 木原 主審 松本 隆志
豊浦 #4 原 #8 大下 #9 白川 #12 三戸 #14 清水 副審 米村 悠美

1月の新人戦では山口が4点差で逃げ切っている。豊浦リベンジなるか、山口連勝か、楽しみな一戦である。両者マンツーマンでスタート。山口#10のシュートで始まる。豊浦、残り7分で初得点。山口、DEFから速攻でリズムに乗り1Q16-8で山口リード。2Q、出足山口一気に勝負を決めにかかる。しかし、山口ファールがかさみ豊浦フリースローで得点を重ねる。32-23で前半終了。3Q、豊浦は前半とは見違えるようなDEF。豊浦のリズムである速攻が出て、ついに41-40の1点差まで追い詰める。4Q、両者DEFを頑張り、なかなか得点が入らない。残り6分#14の3Pで5点豊浦リード。その後山口も粘り、点差を広げさせない。残り1分山口#5の3Pで1点差。すぐ豊浦#10のシュートで3点差。残り8秒山口フリースローをもらうが入らず豊浦勝ちかと思われたがリバウンドを取りカウントワンショット57-57、残り5秒豊浦#9がカットインしてシュート、見事ゴールにおさまり試合終了。59-57で豊浦が勝利を飾った。残り1からこのような劇的なことがあるとは誰も予想していなかった。(枝折康孝)



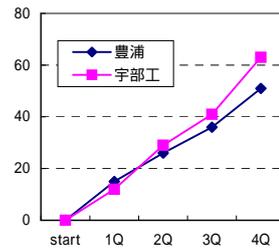
平成20年度 第52回中国高等学校バスケットボール選手権大会山口県予選会
H20年(2008年)4月26日(土)・27日(日) 西京高校

男子決勝リーグ 4月27日 9:30

豊浦 vs 宇部工 15 - 12 11 - 17 10 - 12 15 - 22 51 - 63

Starters
豊浦 #4原 #8大下 #9白川 #12三戸 #14清水 主審 河村 正夫
宇部工 #4辰本 #6今塩屋 #7村田 #8竹本 #9藤田 副審 高部 貴透

山口との激戦を制し勢いに乗る豊浦と、惜しいゲームを二戦続けて落とし後のない宇部工との、中国大会出場権の行方を大きく左右する、重要な一戦である。緊張感漂う中、両チームマンツーマンでスタート。豊浦が#14、#12の3Pシュートなどで5分7 2とリードするが、宇部工も#4、#9のシュートなどで必死に追いつき、1Q、15-12で終了。2Q、豊浦のOFFが重く得点が止まり、宇部工#9のミドルシュートなどで逆転し、残り6分で17-22、その後は一進一退の攻防が続き、26-29と宇部工3点リードで前半終了。後半に入っても重い流れは続き、36-41で3Q終了。4Qに入り、残り5分で41-53と宇部工がリードを広げる。豊浦はここからプレスやゾーンDEFを仕掛け、追いつこうと粘るものの、宇部工がしっかりとつなぎ、結局51-63で逃げ切り、待望の勝利を得た。豊浦の#14、#9に対する宇部工の粘り強いDEFが勝利の最大の要因だと思われるが、この結果、中国大会のキップの行方はまさに混沌の様相をみせてきた。(角村周治)

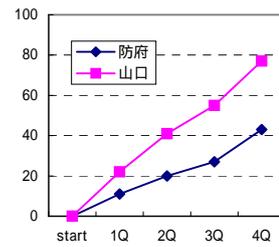


男子決勝リーグ 4月27日 11:00

防府 vs 山口 11 - 22 9 - 19 7 - 14 16 - 22 43 - 77

Starters
防府 #4河村 #5吉田 #7柳 #8平屋 #13大谷 主審 中村 秀昭
山口 #4大田 #5上田 #7友森 #8小沢 #10木原 副審 藤田 薫

豊浦に悔しい負けをし気持ちの切り替えをして望みたい山口と、意地を見せたい防府との試合、1Q、両者マンツーマンでスタート。山口は前から激しいDEFをし、防府のミスを誘う。防府は、インサイドと外郭のシュートで応戦する。22-11の山口リードで終了。2Q、山口はDEFの手を緩めず防府を追い込み、自分たちのペースに持ち込む。一方、防府はDEFを粘りペースを掴みたいが、リバウンドが取れず苦しい時間が続く。41-20で前半終了。3Q、防府がボックスワンのゾーンを仕掛け相手のリズムを狂わす作戦にでる。しかし、山口は、落ち着いてかわす。防府も#4が果敢にシュートを放つが、リングに嫌われてしまい、点差が離れていく。55-27で3Q終了。4Q、開始直後、山口はスティールから連続得点をし、一気にたたみ掛ける。防府も#4が意地をみせる。77-43で山口が危なげなく勝利した。これで、2勝目。一方、防府は3敗目。残り1試合にすべてを賭けてほしい。(西村 悠)

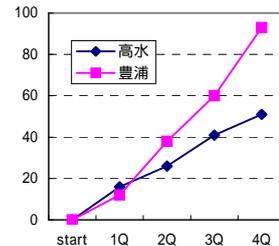


男子決勝リーグ 4月27日 12:30

高水 vs 豊浦 16 - 12 10 - 26 15 - 22 10 - 33 51 - 93

Starters
高水 #4横田 #5白井 #7中里 #9宮儀 #18長岡 主審 多賀谷 豊
豊浦 #4原 #8大下 #9白川 #12三戸 #14清水 副審 勝原 芳徳

両チームマンツーマンDEFで試合開始。両チーム共にインサイドプレイヤーを起点に攻撃を組み立てる。高水は#18にボールを集め、#4の3P等で得点を決める。豊浦は#9ミドルシュートで応戦。16-12で1Q終了。2Qにゲームが動く。豊浦は#14の外郭シュート、#9のミドルシュートが連続で決まり、22-25と逆転。流れは豊浦に傾く。更に豊浦は#14の連続3P等でリードを広げ、26-38で前半終了。3Q、高水はパスが回らず苦しい展開の中、#4の3P等で何とか追いつける。一方豊浦は、#14が負傷と疲労の影響で若干動きに切れがなくなるが、要所で#9が落ち着いて決める。一進一退の攻防の中、抜け出したのは豊浦。#12#14の3P、#13のミドルシュートが立て続けに決まり、41-60で3Q終了。一度流れに乗った豊浦の攻撃は、さすがの高水でも止めることができない。お得意の速攻が立て続けに決まり、点差を広げていく。結局、攻撃の手を緩めず最後まで攻め続けた豊浦が51-93で勝利。豊浦が全勝の高水に土をつけ、3勝1敗と暫定1位に躍り出た。(荒瀬 勇)

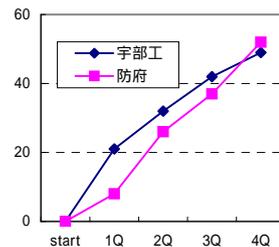


男子決勝リーグ 4月27日 14:00

宇部工 vs 防府 21 - 8 11 - 18 10 - 11 7 - 15 49 - 52

Starters
宇部工 #4辰本 #6今塩屋 #7村田 #8竹本 #9藤田 主審 藤井 正則
防府 #4河村 #5吉田 #7柳 #8平屋 #13大谷 副審 米村 悠美

両チームハーフコートマンツーマンでスタート。出だし両チームなかなか得点できない。宇部工#9のミドルシュートで先制し、#6のドライブや#4の3Pで得点を重ねていく。対する防府は開始4分で#4の3Pでようやく得点するが、その後が続かず21-8の宇部工リードで1Q終了。2Qに入ると防府は#7を中心にオフェンスを組み立ててファウルを誘い、フリースローで着実に得点していき、点差をつめる。32-26で前半終了。後半防府が立て続けに得点し開始3分半で#7の3Pで逆転。たまたま、宇部工タイムアウト。しかし流れは変えられず、7分間得点できない。防府は点差を広げたいところだがミスが続く。すると残り2分で宇部工3連続得点し逆転して42-37で最終Qへ。両チーム共にDEFが激しくなり、シーソーゲームになる。一進一退の攻防が続いていたが、防府#4の2連続得点で防府が3点差をつける。宇部工は早い攻めを見せ、追いつきたいところだが、防府が粘り49-52で逃げ切った。(枝折 健吾)

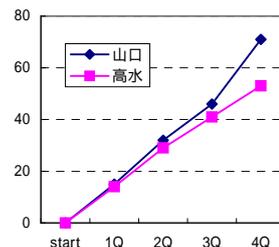


男子決勝リーグ 4月27日 15:30

山口 vs 高水 15 - 14 17 - 15 14 - 12 25 - 12 71 - 53

Starters
山口 #4大田 #5上田 #7友森 #8小沢 #10木原 主審 奥野 忠
高水 #4横田 #5白井 #7中里 #9宮儀 #18長岡 副審 枝折 康孝

両チームともマンツーマン。山口はモーションオフェンス、高水はインサイド#18に入れて攻撃を組み立てるが、シュートが決まらず膠着状態が続く。3分、山口#5が3Pで先制すれば高水も#5が3Pを入れ返す。その後山口がドライブや3Pでリードを奪うが、終盤高水が#4の3Pや#18の1対1で追いつき、1Qを終了して15-14で山口が1点リード。2Qに入っても一進一退の接戦が続き、32-29で前半を終了する。3Q、リバウンドを高水が制し、高水が押し気味に進めるがシュートを決めきれない。山口もシュートが落ち、膠着状態が続く。残り2分に41-41と同点になるが、高水にターンオーバーが続き46-41と山口リードで終わる。4Q、高水はミスが続き5分には58-51。山口は集中力を切らさずルースボールなどによく反応し、残り2分には61-53。高水は外郭も#18のシュートも決まらず、また1対1が守りきれず71-53で山口が勝利を収め、2位。高水が3位となった。(永尾 茂則)

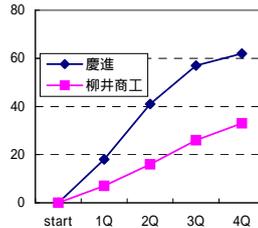


平成20年度 第52回中国高等学校バスケットボール選手権大会山口県予選会
H20年(2008年)4月26日(土)・27日(日) 西京高校

女子決勝リーグ 4月26日 9:30

慶進 vs 柳井商工 18 - 7 23 - 9 16 - 10 5 - 7 **62 - 33**
 Starters 1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL
 慶進 #4 吉村 #5 坪根 #7 岡 #8 角田 #13 岡崎 主審 弘中 勤
 柳井商工 #4 牧野 #5 藤田 #6 小田 #7 工藤 #10 小田 副審 山本 俊光

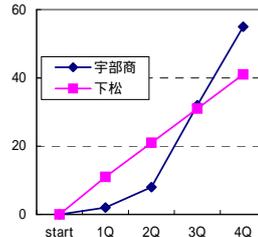
共にハーフのマンツーマンDEF。柳井商工は長身者を3人そろえインサイドにボールを入れて攻める。慶進はボールを持たせないようにディナイディフェンスを頑張る。しかし、両チームともシュートが決まらず開始5分で4-2。慶進はメンバーチェンジをしながらディナイディフェンスを徹底する。次第に速攻が始まり、また、ボールをインサイドに入れてからの展開で得点を伸ばす。柳井商工も#4の3P等で対抗するも攻めきれず、1Qを終わって18-7と慶進のリード。2Qに入って慶進はDEFをさらに強め、柳井商工はインサイドにボールが入らない。慶進は#8にボールを入れ、#8の1対1や外へのパスでバランスよく攻め前半を終わって41-16と慶進が大きくリードする。3Qに入っても慶進は#8を起点に攻め得点を伸ばす。柳井商工は4分間得点がない。慶進はメンバーを大幅に変え57-26でこのQを終える。4Qに入ると両チームともメンバーを入れ替える。ミスが多くこのQだけでは5-7。62-33で慶進が勝利を取めた。(永尾茂則)



女子決勝リーグ 4月26日 11:00

宇部商 vs 下松 2 - 11 6 - 10 24 - 10 23 - 10 **55 - 41**
 Starters 1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL
 宇部商 #4 江田 #6 三奈木 #8 西村 #14 岡田 #15 入江 主審 河村 正夫
 下松 #4 西村 #5 宮内 #7 西村 #16 井堀 #17 東 副審 今田 充

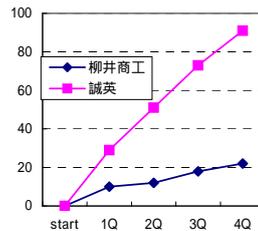
1Q、宇部商マンツーマン、下松3-2ゾーンでスタート。下松のゾーンDEFに対して宇部商はインサイドを攻めることができず、3Pに頼り得点できない。下松は、落ち着いたOFFで得点し、2対11で1Qを終了した。2Q、DEFに変更はないままスタート。宇部商はより厳しくDEFをし、下松を苦しめるが、連続で得点され、3分で宇部商がTO。その後、宇部商は厳しいDEFをし、残り4分両者得点が決まらないまま8対22で前半を終了した。3Q、宇部商の厳しいDEFにより下松は攻め切れず、宇部商は3Pを4連続で決めた。下松は宇部商の8番に対してボックスでDEFを仕掛け、OFFの動きを止めようとした。しかし、波に乗ってきた宇部商を止めることができず、4分で28対27と逆転を許した。その後、両者一進一退の攻防を繰り返し、32対32と同点で3Qを終了した。4Q、引き続きDEFに変更はない。両者ともに得点が進まないまま4分を経過。下松が4分でTO。DEFをマンツーマンに変更。下松に対し、宇部商8番のドライブが連続で決まり、55対41で試合を終了した。(森脇 敏雄)



女子決勝リーグ 4月26日 14:00

柳井商工 vs 誠英 10 - 29 2 - 22 6 - 22 4 - 18 **22 - 91**
 Starters 1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL
 柳井商工 #4 牧野 #5 藤田 #6 小田 #7 工藤 #10 小田 主審 勝原 芳徳
 誠英 #4 林 #5 吉武 #6 西村 #11 友景 #16 宗正 副審 安部 沙織

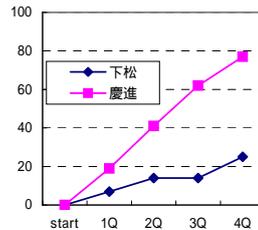
両チームマンツーマンDEFで試合開始。誠英は立ち上がりからエンジン全開。激しくDEFプレッシャーをかけ、相手のミス誘う。柳井商工は#5の1on1を起点に攻撃を仕掛けるが、相手DEFに気持ちよくプレーが出来ず苦しい展開。誠英は高い位置からのDEFでチャンスを作り、#4、#16のジャンプシュート等でリズム良く得点を重ね、10-29で1Q終了。2Qに入っても誠英のペースで試合が進む。柳井は#5を下げ、攻撃の糸口が掴めず、5分間ノーゴールタイムとなる。誠英は控え選手を次々と投入するが、DEFを緩めることなく、12-51で前半終了。後半に入り、柳井は#5を投入し、攻撃の流れを作ろうとするが、衰えを知らない相手DEFの前に苦しいバスケットを強いられる。誠英18-73と大きくリードを広げ3Q終了。4Qは、両チームとも控え選手同士の対戦となるが、結局20-89でゲームセット。誠英が手堅く1勝をものにした。柳井商工は#5の怪我が心配であるが、気持ちを切り替えて翌日のゲームに臨んで欲しいものである。(荒瀬 勇)



女子決勝リーグ 4月26日 15:30

下松 vs 慶進 7 - 19 7 - 22 0 - 21 11 - 15 **25 - 77**
 Starters 1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL
 下松 #4 西村 #5 宮内 #7 西村 #16 井堀 #17 東 主審 有澤 優子
 慶進 #4 吉村 #5 坪根 #7 岡 #8 角田 #13 岡崎 副審 藤本 久志

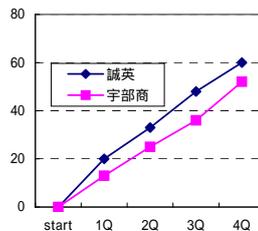
1Q、両者マンツーマンDEFで試合開始。下松は、慶進の高さを意識してかOFFで逃げてシュートまで行くことが出来ない。慶進は、#5、#8のインサイドを中心に得点を重ね7-19と慶進リードで終了。2Q、下松は、一試合目の疲れから単純なミスを繰り返す。5分間ノーゴール。慶進も集中力を欠きイージーシュートを落とし、下松に連続得点を許してしまう。慶進は、ここから集中し突き放しにかかる。14-41慶進リードで前半終了。3Q、下松は、慶進のDEFを攻めめぐり得点することが出来ない。対する慶進も下松にあわせてようにミスを繰り返す。14-62で終了。下松は、3Qノーゴール。4Q、慶進は、オールメンバーチェンジ。下松は、DEFを前から当たりリズムを変えようとする。下松久しぶりの連続得点で18-64とする。しかし、ここから5分間ノーゴール。慶進は、控えメンバーが思い切りプレイし、点差を広げ25-77で試合終了。(山本俊光)



女子決勝リーグ 4月26日 15:30

誠英 vs 宇部商 20 - 13 13 - 12 15 - 11 12 - 16 **60 - 52**
 Starters 1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL
 誠英 #4 林 #5 吉武 #6 西村 #11 友景 #16 宗正 主審 奥野 忠
 宇部商 #4 江田 #6 三奈木 #8 西村 #14 岡田 #15 入江 副審 綾部 直樹

1Q、両者マンツーマンでスタート。序盤、誠英は、パス回しから、中につなぎ攻撃をしかける。一方、宇部商はバスランからドライブをしかけるが、厳しいディフェンスを切り崩せない。誠英は、速攻を出しリズムよく得点を重ねる。宇部商は、#8のドライブ、外角シュートで応戦する。20-13で終了。
 2Q、宇部商は1-3-1のゾーンに切り替える。このゾーンが当たり、誠英のオフェンスに微妙に狂いたし、イージーシュートを落とす。宇部商は、3Pを決め一進一退の攻防が続く。残り2分半、29-25の4点差まで詰め寄る。33-25で前半を折り返す。
 3Q、宇部商はマンツーマンに戻す。ミスが目立ち、両者ともなかなかリズムがつかめず、我慢の時間帯が続く。仕掛けたのは宇部商。フリースローが入った瞬間、2-2-1のプレスをし、これが成功する。しかし、誠英もスティールから得点をし突き放す。48-36で終了。
 4Q、残り6分。宇部商はゾーンに戻す。ディフェンスでは、誠英を苦しめたが、頼みの3Pが入らず、苦しい展開。上からのプレスをしかけ、残り3分すぎ、#8の3Pが決まり、10点差。また、ゴール下、3Pを連続で決め、1分30秒で、5点差まで縮める。宇部商は最後に粘りをみせたが、誠英が苦しみがら60-52で逃げ切った。誠英は2勝、宇部商は1勝1敗。誠英は、気持ちを切り替えて明日に備えてほしい。一方、宇部商は、最後に見せた粘りで、明日の試合も頑張ってもらいたい。



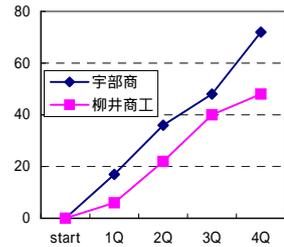
平成20年度 第52回中国高等学校バスケットボール選手権大会山口県予選会
H20年(2008年)4月26日(土)・27日(日) 西京高校

女子決勝リーグ 4月27日 9:30

宇部商 vs 柳井商 17 - 6 19 - 16 12 - 18 24 - 8 72 - 48

Starters
宇部商 #4 江田 #6 三奈木 #8 西村 #14 岡田 #15 入江 主審 有澤 優子
柳井商 #4 牧野 #5 藤田 #6 小田 #7 工藤 #10 小田 副審 島本 智江

宇部商マンツーマン、柳井商マンツーマン・1-1-3ゾーンのチェンジングDEFでスタート。宇部商は相手ゾーンの前に外郭シュートが決まらないが、リバウンドを頑張る。またDEFを頑張る、柳井商のミス誘う。#4の速攻、3P等が決まり、17-6で1Q終了。2Q、宇部商は#8のドライブを起点に合わせのプレー、#4の3Pで得点を決める。一方柳井商は#4、#5の1on1で応戦する。DEFはチェンジングで、宇部商のドライブインを止めにかかるが、相手OFFを封じるには及ばず、36-22で前半終了。3Q、宇部商#4の3P等が決まり、後半も宇部商ペースかと思いきや、中盤から柳井商のゾーンの前にパス回りが悪くなり、シュートが決まらない。柳井商は、#5を中心にシンプルな1on1からシュートが次々と決まり、一時は43-40と点差を3点に縮める。しかし、宇部商は要所で1年生#15のOFFリバウンドでつなぎ、48-40で3Q終了。勝負の4Q、宇部商は外郭シュートが決まり再び息を吹き返す。一方柳井商は、若干足が止まり、#4のファールアウトも重なり万事休す。72-48で試合終了。柳井商は、追いつきかけた3Qで逆転できなかったところが悔やまれる試合となった。(荒瀬 勇)

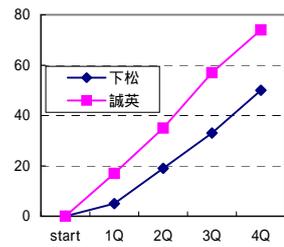


女子決勝リーグ 4月27日 11:00

下松 vs 誠英 5 - 17 14 - 18 14 - 22 17 - 17 50 - 74

Starters
下松 #4 西村 #5 宮内 #7 西村 #16 井堀 #17 東 主審 松本 理
誠英 #4 林 #5 吉武 #6 西村 #11 友景 #16 宗正 副審 伊藤 秀昭

1Q、両者マンツーマンでスタート。出足下松はシュートが入らない。誠英#7の1対1で得点を伸ばす。たまたま5分下松タイムアウト(11-0)。残り2分下松#5のシュートで初得点。1Q17-5誠英リード。2Q、下松#11の連続得点で点差を縮める。しかし、誠英DEFから速攻でリズムを取り戻し下松残り3分タイムアウト(25-14)。タイムアウト後も誠英DEFをひるまない。前半35-19誠英リードで終了。3Q、誠英#6のシュートで始まり、一気に勝負を決めにかかる。下松#5が孤軍奮闘するが点差はジリジリ開いていく。3Q、57-33で終了。4Q、下松#18のシュートなどで点差を詰めにかかるが、誠英#6を下松は抑えることができない。その後、一進一退の攻防が続いてそのまま試合終了。74-50で誠英が三勝目を手にした。最終試合の慶進戦が見ものである。対する下松は3敗で最終試合を勝利で飾りたいものである。(枝折康孝)

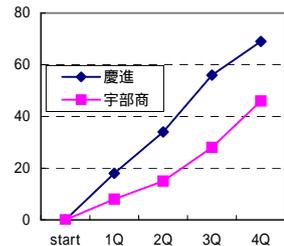


女子決勝リーグ 4月27日 12:30

慶進 vs 宇部商 18 - 8 16 - 7 22 - 13 13 - 18 69 - 46

Starters
慶進 #4 吉村 #5 坪根 #7 岡 #8 角田 #16 橋本 主審 吉田 俊二
宇部商 #4 江田 #6 三奈木 #8 西村 #14 岡田 #15 入江 副審 兼重 晃

両チームマンツーマンでスタート。立ち上がり慶進は#5の1on1、#8のインサイドとリバウンドシュートで得点し、ゲームの流れを掴む。一方宇部商は動きの中から1on1を仕掛けるが、慶進の厳しいDEFを破ることが出来ずなかなか得点出来ない。開始5分#8の3Pで初得点をあげるが続かない。18-8と慶進リードで1Qを終了。2Q宇部商は#6が積極的に1on1を仕掛けていくが、やはり慶進の厳しいDEFは崩れず、得点に結びつけない。一方慶進は、DEFからの速攻、#5、#8のインサイドでの得点で確実に点差を開けていく。34-15で終了。3Qも流れは変わらず慶進ペースでゲームが進む。宇部商はシステムプレイで突破口を開こうとするが得点にならない。56-28と慶進がリードをひろげて終了。4Qに入り、慶進はメンバーチェンジ。宇部商は積極的にシステムプレイからの1on1、シュートを狙い、徐々に得点をしていく。しかし、立ち上がりから終始自分たちのペースでゲームを進めた慶進の得点には追いつかず、69-46で慶進が勝利した。(葉山雅基)

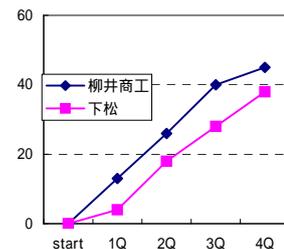


女子決勝リーグ 4月27日 14:00

柳井商 vs 下松 13 - 4 13 - 14 14 - 10 5 - 10 45 - 38

Starters
柳井商 #4 牧野 #5 藤田 #6 小田 #7 工藤 #10 小田 主審 網屋 みちる
下松 #5 宮内 #7 西村 #16 井堀 #17 東 #18 白井 副審 浅利 祐輝

柳井商ハーフコートマンツーマン、下松オールコートマンツーマンでスタート。1Q、互いにミスが重なり、重たい雰囲気だったが、柳井商#5のインサイドで先制。柳井商はクロススクリーンからのハイローを中心に攻めを組み立てる。対して下松はパスランからの3P攻撃で応戦する。下松は激しいDEFの前にパスミスが続く、シュートまで行けない。2Q、下松#5の連続3Pで4点差まで詰め寄るが、柳井商#4の3P、#6のゴール下で再び突き放し、柳井商8点リードで後半へ。3Q、柳井商は#5をコートに戻し、リズムを取り戻す。1対1、アシストパスと大活躍。下松は思い切りよく3Pを狙うが、ことごとく入らない。4Q、下松は#18の3P、ドライブで8得点を叩きだし、さらに#5のフリースローで7点差まで追いつけるが、一歩おぼす終了。柳井商4位、下松5位が決定した。(高部貴透)



女子決勝リーグ 4月27日 15:30

誠英 vs 慶進 13 - 12 4 - 6 10 - 20 21 - 18 48 - 56

Starters
誠英 #4 林 #5 吉武 #6 西村 #11 友景 #16 宗正 主審 松本 隆志
慶進 #4 吉村 #5 坪根 #7 岡 #8 角田 #16 橋本 副審 田中 優

両者全勝対決。新大会の借りを返したい慶進と、それを受けて立つ誠英。互いに譲れない1戦。1Q、両者マンツーマンでスタート。立ち上がり、緊張からか慶進はミス続き、たまたまタイムアウト。誠英もシュートまで持っていくが決めきれない。なかなか点が入らず、誠英13-12慶進で終了。2Q、激しいDEFで、両者OFFの突破口が見つからず、2Qは4-6でまれに見るロースコアになった。後半に入り、どちらが流れをつかむか、誠英17-18慶進で折り返し。3Q、3分経過の時点で、誠英の#6が負傷しベンチに下がる。この時間帯から、試合が動き出す。ものにしたのは慶進。慶進#4がドライブからバスケットカウント。このフリースローを慶進#8がリバウンドし、またフリースローを得る。2本とも沈めペースを掴む。誠英は、我慢の時間帯が続いた。誠英27-38慶進で終了。4Q、誠英#9、#5の連続3Pで残り7分半7点差。誠英も、速攻でペースを掴みかけようとするが、慶進#4が止められない。10点差前後を繰り返す。慶進ペースで試合終了。慶進は、うれしい1勝を挙げた。対する誠英は悔しい敗戦だった。両者、中国大会での活躍を期待する。(西村 悠)

